



充実の屋島集団宿泊学習 ～ スローガン ONE TEAM とともに学び 助け合う ～

11月28日(木)～30日(土)、1年生が2泊3日の屋島集団宿泊学習に行ってきました。11月下旬ということで、感染症の流行も懸念されましたが、本校ではその気配もなく、無事実施することができました。また、この期間、綾川町では雨模様が多かったと聞きましたが、宿泊学習団は運よく雨の合間をくり抜け、傘をさしたりレインコートを着用したりすることなく活動することができました。それでは、この3日間の子どもたちの学びや成長の一端を紹介します。

1 自然・歴史を学ぶ

澄み切った空気、険しい屋島の地形、紅葉した木々、食事をしながらでも楽しめる海の絶景や鳴り響く波音等、自然の美しさを五感で味わいました。また、11月ならではの低気温や海沿いならではの強風、その強風にあおられて揺れるカッター船、強風の中、「命が最優先」と泣く泣く中止の決定を受けた1年5組のカッター訓練と、コース別選択学習の海釣りコース等、自然の厳しさも十分に体感しました。

更には、源平合戦の歴史を確認しながら歩いた史跡探訪ハイキング、爽やかな海風を感じながら心地よく自転車を走らせたサイクリング、大自然の中で競い合ったフライングディスクゴルフ、長崎の鼻の絶景を堪能した自然満喫ハイキング等、海と山に囲まれ史跡の多い屋島の地ならではの自然・歴史を十二分に堪能できました。

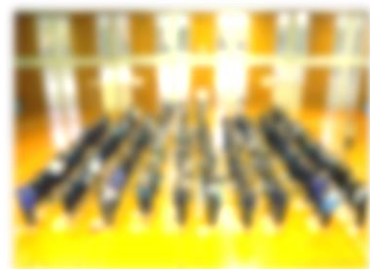

2 公共施設での振る舞いを学ぶ

屋島少年自然の家は、今年度、19の中学校と84の小学校、そして25の各種団体が来所するなど、多くの人々が利用する施設です。そのため屋島少年自然の家では「来た時よりも美しく」というスローガンを掲げています。この宿泊学習中、3度の清掃活動や奉仕活動に携わる機会がありました。本校では、学校生活において、美化活動に集中するために「無言清掃」に取り組んでいますが、それと同様、あるいはそれ以上に美化活動に励む姿には感心させられました。「労をいとわない」という言葉がありますが、まさに1年生の子どもたちにぴったりの言葉です。また、退所時に自然の家職員によって行われる部屋の点検(退所点検)も、あっさりクリアするなど、次の利用者が気持ちよく施設を使えるようにという心配りが随所に見られました。


3 集団行動を学ぶ

1年生が掲げた集団宿泊学習のスローガンは「ONE TEAM(ワンチーム)」。162名の集団が、班を超え、学級を超えて、1つになろうという目標です。この3日間で感心したことの一つに、行動の「始動と集合」が早いことが挙げられます。当初は各活動等に対して「10分前行動、5分前集合」を目標として掲げていましたが、実際は「10分以上前行動開始、5分以上前集合完了」がなされていました。これだけゆとりをもって行動すると、計画された活動が予定通りに進まないはずがありません。そして、十分な活動時間が確保できたため、中身の濃い充実した活動になったことは言うまでもありません。

まさに一人一人の心掛けが実を結んだ集団行動であり、まさにスローガン「ONE TEAM」を象徴する姿の一つとなりました。



また、今回の集団宿泊学習の特徴的なことの一つに、途中で体調不調を訴える子どもが少なかったことが挙げられます。3日間とも低温、強風という冬らしい天候で、活動も多く、いつ体調を崩してもおかしくないような状況でした。しかし、しっかりと食事を摂り、就寝時刻に速やかに寝床に就くという行動様式がそれぞれの子どもたちの健康を支えました。テレビもゲームもスマホもない環境の中、各種活動がたっぷりと盛り込まれた中での規則正しい生活が、子どもたちの健康の原点を教えてくれたような気がします。

保護者の皆様におかれましては、準備や送迎等でお世話になりました。また、交通渋滞により、解散がお知らせした予定より遅れましたこと、この紙面をお借りしてお詫び申し上げます。